

## 第2回香美町香住区就学前施設再編検討委員会 会議録

日 時：令和6年8月1日（木）19:30～

場 所：香美町役場3階 大会議室

出席者：同検討委員会委員

出席 16名（教育長を含む）、欠席 2名  
事務局 5名

### 1. 開会

### 2. あいさつ（教育長）

### 3. 報告事項

なし

### 4. 協議事項

※特定の個人・他の行政組織等に関する発言等は掲載を控えています。

#### (1)再編のあり方（配置）及び時期について

【香住区自治会代表】全体会の集まりはないが、会長と協議を行った。前回、私立2園は認定こども園化の方向性を示された。柴山保育所については、自治会としては今後の町の方針に賛同していく。

時期については、学校再編のスケジュールも踏まえ、令和8年度以降と考える。

【主任児童委員】民生委員の中では検討の話は出ていない。2点尋ねたい。1つ目、佐津・奥佐津の子どもたちが香住小学校にバスで通うようになって、車酔いをする子どもがたくさんあると聞いている。今後、園児がバスで通うことになると、また車酔いのことも問題になると思う。2つ目、すでに小代区では認定こども園がスタートしている。小代の認定こども園化でよかった点、悪かった点は。

保護者は、「合併というか、まとめてほしい」、「時期的には2年後ぐらいから」という意見が多かったように聞いている。

【教育総務課長】就学前の通園については、保護者送迎なので、スクールバス等での通園は行わないので、関係ないかと思っている。

【こども教育課長】小代区は元々幼稚園がなく、三つのへき地保育所を一つにして、認定こども園化した。また、元々保育所で5歳児まで預かり、保育所から直接小学校へ就学しており、比較し難く、答えにくい部分がある。

【主任児童委員】先ほどもあったが、子どもの送迎については、保護者の負担が大きくなるのではないか。先日、小代認定こども園を見学した。年齢によってクラスの雰囲気はかなり違うが、子どもたちがのびのびしていた。こうなればよいと思った。

時期については、他の民生委員に聞くと、早い方がよいのではないかという声が多かった。

【柴山保育所長】園・保護者会とともに検討してきた。保護者代表者が報告する。

【柴山保育所保護者代表】柴山保育所の方針としては、柴山に公立の認定こども園を整備することを希望する。主に考え方が三つある。まず、認定こども園化については、園児数がどんどん減っていく中で、現在の保育所として維持していくのは、集団や規模を考えると保育が難しくなると考える。認定こども園化することによって、現在の幼稚園に通っている世代と就労していない世代からのこどもが加わることで、適切な集団を維持して活気のある園になるのではないかと期待している。あとは認定こども園化によって、共働きや兄弟のいる世帯にとって子どもを預けやすい環境になるのではないかと考えている。パートタイムやフルタイムで働きたくても働いていない方にとって、働く機会を多く作るという意味でも、認定こども園の方が長い時間預けられるというイメージがある。

次にあり方で、公立としての施設を配置するということである。やはり、公立の希望がある。他の保育園に入所できない場合や転校・転入する際の受け皿として公立が必要なのではないかという意見と、考え方の多様化、宗教的価値観、教育方針によって、中立的というか非宗教的な保育環境、保育・教育を望む声もある。選択肢として必要なのではないかと考える。最後に、配置については、柴山という地域に保育機能のある施設を残すべきだという思いがある。現在、住んでいるところや職場からの距離を考慮し、身近なところで保育を望む声が多くある。また、長年にわたって地域の方々とともに築いてきた伝統がある。この前のお祭りをはじめ、いろいろ行事があるのだが、そうした伝統ある行事を後世に残したいという思いもある。最後に、子育て世代にとって魅力ある地域づくりにするためにも、柴山に残したいという意見であり、地域から保

育機能がなくなることによって、子育て世代やUターン者からの移住地としても選ばれなくなるのではないかという懸念がある。地域として保育機能は魅力の一つだと思うので、柴山地域に残したいと思っている。子どもの居場所がなければ、都会から帰ってきたとしても豊岡に住んだり、こちらに戻ってきたとしても香住の中心部に家を建てたりする。周りの地域がどんどん衰退していくのではないかという懸念があり、まだしばらくは継続して柴山に配置してもらいたい。

再編の時期については、手続きや施設整備等に一定の時間がかかることも考慮しつつ、なるべく早期の再編を望む意見が多かった。ただし、小学校の再編や幼稚園の統合等も控えていることから、全てを一斉にやるのではなく、段階的に進めていくべきである。

今回、保護者のアンケート結果で認定こども園を理解されてない保護者が多いという印象だった。保護者向けに認定こども園の具体的なイメージがわくような資料の提供か説明の機会があればよい。

**【みなと保育園長】** 様々なところを考えると、民間2園が認定こども園化するというのが、一番適切ではないかと考える。地元に残したいということは、どこの地域でも同じことである。民間が魅力ある施設を作っていくことが非常に重要だと思っている。

時期については、施設整備の期間等があり、今から来年、令和8年に建設、施設整備は無理な話であり、早くとも令和9年からになるのではないかと考えている。決定された内容で事業を進めることとなるので、少しでも早く、時期や形について決定していただきたいと願っている。

**【みなと保育園保護者代表】** 出生率の低下が著しい。保護者としては、子どもにはある程度の集団の中でコミュニケーションをとりながら成長してほしいという気持ちが強くある。ある程度集団が形成できる形の園が、どの形になるかわからないが、それで進んでいくことを願っている。

時期に関しては、いろいろ調整や設備投資などあるが、早期実現、一番早い時期での再編を願っている。

**【青葉保育園長】** 私立の保育園2園で進めてほしい。20年ほど前から1年間、幼稚園に通わせるのではなく、5歳まで保育園にずっと通わせてほしいという保護者の声が上がっていた。また、子どもの人数が減っていく中、公立の園で職員を雇いつづけるのはすごく無駄ではないか。そうした経費を他の園や子育て支援に活用すれば、より良い子育て環境ができると思う。今後さらに少子化が進んでいく中、3園となると子どもの奪い合いをする状況が目に見えている。そのような中で人数が少ない保育園・認定こ

ども園を設置することになる。認定こども園では、独特のやり方による子どもの獲得をしていかなければならないと思っているが、人数が減っていく中で奪い合いということもしたくない。民間に任せてもらうのが一番良い。学校統合で香住小学校に一つになっていく中、柴山の皆さんも私立だけになっていくことも理解できると思う。私立のみに任せてほしい。

次に時期については、すぐすぐというのは無理だと思う。この話し合いをまず解決し、そこから町や県と調整、受理されてから、取りかかることとなる。長引けば長引くほどスタートが延びる。1年間で建設を終えるということで、ぎりぎりであり、4月に着手し3月末に完成するのが一番望ましいと聞いている。そうなると、令和7年、8年はちょっと厳しい。9年以降になると考えている。

**【青葉保育園保護者代表】**実施したアンケートの意見を読み上げる。基本的に保護者会の立場としては、保育園長の意見と同じで、私立保育園のみの認定こども園が望ましい。これについても、家庭の事情、住んでいる場所、仕事の状況、家族構成、全部違うので、保護者全員の総意ではないというのが現状である。人によっては、私立2つと公立の認定こども園がほしいという方もいる。就学前施設あり方について、まず認定こども園化は早くやってほしい。親の就労の事情に関わらず、3歳以上の子どもが保育を受けられる状況にすることで利用者を見込める可能性があるのではないか。統合は必要に応じて行うのが良い。家族共働きの世帯など保護者の就労状況などを踏まえて選択できるように、私立保育園の認定こども園化が望ましい。また現在、各園で働いている先生方の町内での働く場所がなくならないように考える必要がある。働いている者にとって、長期休暇や幼稚園での預かり時間の短縮も非常に負担が高い。

再編の時期については、人数に応じて必要なタイミングで実施するのが良い。もう一つは可及的速やかに再編に取り組んでほしい。選択肢が一つに限られてしまうのではなく、選択制、各園の主体性に応じて、利用者が選べる体制作りを考えてほしい。その他、少子化が著しく、高齢化も顕著な中、将来の生活スタイルにも変化が生じていると思うので、子育て世代が仕事も大事にしながら生活に制限を持たせずに対応できるような子育て環境をしっかりと整えてほしい。また、保育園留学など、都市部の子どもたちが短期で利用できる仕組みに取り組むことで、子どもたちへ良い刺激、そして、町のPRのにもなるのではという意見もある。

**【長井幼稚園保護者代表】**今の段階では現状維持がよい。中でも香住幼稚園を残してほしいという意見があった。その理由として、幼稚園の1年間で小学校に向けた教育を受けられること、また小学校との連携ができるからということだった。一方、就労状況に配慮した認定こども園を作りたいという意見ももちろんあった。今後、認定こど

も園化にするのであれば、人数が減っていく中でも、子どもたちが集団の中で友達と関わっていけるよう、一本化してほしいという意見が出た。

再編の時期については、小学校の再編もあるので、この再編が落ち着いた後、6年後ぐらいがいいという意見があった。一本化してほしいという意見があったが、私立と公立と保育方針が異なる中、一本化することが可能なのかという意見も多く出た。

**【柴山幼稚園保護者代表】**青葉保育園とみなと保育園が認定こども園になっても、今のまま、柴山保育園で4歳まで見てもらえ、5歳からはみんな香住幼稚園に行くようにしてほしい。認定こども園になると、少子化で子どもが少ないのに、子どもがバラバラになり、かわいそうという意見があり、香住幼稚園に集約してほしいという意見があった。

再編の時期は、特に今と変える必要はないので、再編という考えは特にない。その他の意見として、柴山保育所を残してほしいという意見と、柴山から子供の声なくなるのは寂しいという声があった。香住幼稚園に合併し、認定こども園化した場合、2時以降見てもらうことができないという意見や、保育所の入所のように保護者の就労要件等は要らないのではという意見があった。また、役場の意見も聞きたいという声があった。

**【香住幼稚園保護者代表】**この統合が第一に子どものためにとということが、優先となると思うので、結論から言えば、現行のままでという意見でまとまった。子どもたちは早くお兄さんお姉さんになりたいという憧れが大変強い。香住幼稚園を残して、小学校と連携した交流等、次のステップアップには幼稚園での1年は必要と思う。今の三つの保育園にもそれぞれの特性がある。自宅からの距離もあるが、様々な思いから保育園に行かせている方も多し。もちろん年々少子化も進んでいて、3ついらぬのではという意見もある。今後もし、認定こども園化という話になれば、立地等のことを考え、香住幼稚園を認定こども園化するのが一番の候補ではある。

再編の時期は、なるべく早くというのが希望だが、早くて4、5年ぐらい、5年後かと思う。

**【香住幼稚園保護者代表】**先ほどの方と同じ

**【香住幼稚園保護者代表】**一つ目の意見としては、現在の幼稚園を経験して小学校へ通うという流れが、小学校に向けた準備をしっかりとできるという点で、現行のままであってほしいという意見があった。しかし、今後、子どもたちが少なくなっていくという現状や施設がいくつかあり、子供たちが別れてしまうよりも認定こども園化して、子どもの数が多く、たくさんの友達が作れる環境であってほしいという意見があった。も

う一つの意見としては、今後、子どもの数が少なくなっていくが、選択肢はあった方がいいのではないかとということで、一つの認定こども園とそこから公立の幼稚園という流れがあってほしいという意見があった。

再編の時期としては、時間をかけて検討をしてほしいという意見や認定こども園化をするならそのタイミングに合わせてという意見があった。

その他としては、現在、幼稚園児の子育てしている保護者からすれば、就学前の環境や小学校との交流をすごく大事だと感じている方が多いので、交流しやすい小学校の近くに配置されるのがよいという意見があった。

**【香住幼稚園長】** 子どもたちが少なくなる中で、昨年生まれた子どもたちが香住区だけで38名、それが令和11年に5歳児になる。そのときに、施設の数が3つであれば、均等割で12、13人ずつとなる。今の柴山保育所の人数ぐらいになる。10人いれば集団、小さな集団にはなるのだが、その集団が成り立たないから香美町では「わくわく交流会」を行っている。3つの認定こども園という考えもあるが、それでは小学校に入るまでに、その38人が別々の教育を受けてくることになるがどうなのか。そして、その別々に教育を受けてきた子どもたちが小学校に入学したときに、果たしてどうなるのだろうかということが、非常に難しい問題であり、しっかり検討していかなければいけない。

**【公募委員（代読）】** 余部地区としては、就学前施設の配置については、現行のままでよいと思う。子どもが少ないので、小学校に上がる前に幼稚園でみんなが集まって一緒に学び、それから小学生になった方がよい気がする。認定こども園にするなら、少人数にわかるより、1つにまとめ、人数が多い方が、子どもたちにもよい経験になる。

次に再編の時期については、方向性が決定し、しっかり環境などが整ってからであればいつでも良い。

**【教育長】** 皆さんの意見を踏まえ、総合的な検討をさせていただこうと、町としては思っている。それで決定ということではなく、今日、意見を聞いて、あくまで一度、事務局案の作成を進めていく。小学校の再編の際もずっと言ってきたが、統廃合も含めたこういう意見をまとめる場合、100対0には絶対ならない。できるだけ共有し、一つの方向を見つけようとするので、今言われた意見と違うことになる可能性も十分ある。そのためにこのように会議を持っているので、まずは今日聞かせてもらった意見を教育委員会が中心となり町長部局も含め、一つの方向性を示していきたいと思う。予定としては、8月中にはまとめたが、9月半ばまでかかるかもしれない。第3回の検討委員会を9月中頃に開催する予定にしているので、それまでに、日程案内とともに、事務局案を送付する。

第3回の検討委員会までに、事務局案を見てもらい、それぞれの団体等で確認を取ってほしい。そのうえで意見を聞かせてもらいたい。

## 5. その他

### (1)その他

【事務局】本日の皆さんの意見が、幅広で多岐に渡っており、事務局案を作るのに少し時間を要するかもしれない。後ほど次回の日程を提案するが、場合によっては日程を再調整させてもらうことも考えられる。ご了承いただきたい。

### (2)次回開催について

- ①日 程 令和6年9月18日（水） 19：30～
- ②場 所 香美町役場3階大会議室
- ③協議事項 再編のあり方（配置・時期）に係る事務局案について

## 6. 閉会